

 **iBT対応**

トフルゼミナール英語教育研究所
高木義人著

TOEFL[®] TEST対策 必修単語集

100点獲得のためのRole Playing



コンピューターで厳選した頻出2600語！

語源と同意語で覚える高効率記憶法！

自己診断テストで弱点克服！



TOEFL is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

テイエス企画(株)

著者紹介

高木義人（たかぎ よしひと）

1950年横浜生まれ。横浜市立南高校から横浜市立大学商学部を卒業後、北アイオワ州立大学（U. of Northern Iowa）大学院へ留学。TEFL（Teaching English as a Foreign Language）を専攻、修士号（M.A.）を取得。大学受験英語からTOEFL、英文速記・タイプ、商業文まで幅広い英語知識を持つ。現在トフルゼミナール英語教育研究所主任研究員。気合いの入った授業には定評がある。柔道4段。

著書：『TOEFL®TEST対策分野別単語&イディオム集』

『テストに強くなる英単語』

『受験の英単語・基礎編』

『英語テスト1000』（編著）

（テイエス企画）

TOEFL® TEST対策必修単語集 iBT対応

発行：2006年 3月30日 第1版第1刷

著者：高木義人®

（トフルゼミナール英語教育研究所主任研究員）

発行者：山内哲夫

企画・編集：トフルゼミナール英語教育研究所

発行所：テイエス企画(株)

東京都新宿区高田馬場1-30-5 千寿ビル6F

電話 (03)3207-7581(代)

E-mail books@tsnet.co.jp

URL <http://www.tofl.jp/books>

印刷：図書印刷(株)

ISBN4-88784-064-0 C0082

乱丁・落丁はお取り替え致します。

TOEFL[®] TEST対策 必修単語集

江苏工业学院图书馆

藏书章

トフルゼミナール英語教育研究所

高木義人 著

はじめに

本書の旧版にあたる「TOEFL® TEST対策必修単語集（改訂版）」が出版されたのは2002年のことでした。幸いにも多くの熱心な学習者によって本書が支持を受け、多くの版を重ねることができました。

今回、TOEFL試験を主催するETSはCBT（Computer-based Test）版を更に進化させiBT（Internet-based Test）版とし、受験科目の区分をREADING, LISTENING, SPEAKING, WRITINGの4部門に変更しました。

COMPUTERがいろいろな試験に導入されることは時代の流れを考えると当然のことであり、その試験対策としてCOMPUTERに習熟することは留学する際にも必要不可欠な要素になると考えてよいと思います。一方、受験形式が変更されても、試験そのものは英語を母語としない受験者が、アメリカをはじめとする諸外国の大学へ進学する際の英語の実力を試すものですから、目的の変更がない限り、試験内容に大きな変更がないのは当然のことと考えられます。

TOEFLテストに出題される読解文の分野は、天文、地学、地理、物理、化学、生物などの自然科学領域、法律、経済、社会、歴史などの社会科学領域、心理、文学、音楽、哲学、思想などの人文科学領域など多岐にわたっています。本書で例文として用いたのはこれらの諸分野に関連する文がほとんどです。従って、語源、分野別で必修単語を学び、その同意語を覚えることによってTOEFL試験に必要な単語対策を充分に行うことができ、CDを聞きながら例文を何度も復唱することによって「読む」、「聴く」、「話す」、「書く」の4技能も強化することができます。

今回、新版を発刊するにあたりSPEAKINGとWRITINGで必要と思われる表現を学ぶ「SPEAKING・WRITING強化コーナー」を新たに加えてiBT対応版としました。読解やリスニングの単語と異なり、話をしたり、書いたりする上で重要と思われる表現をまとめたものです。

単語学習は一朝一夕にできることはありませんが、努力をすればするほどこれほど着実に力がつくものは他にはありません。CDを十分に活用することによって読者諸君の英語力が飛躍的に伸びることを心からお祈りします。

2006年1月 高木義人

TOEFL TEST対策必修単語集 もくじ

はじめに

本書の特長と利用法

本書で扱う単語レベル

本書の構成

本書の単語の取り上げ方と学習の手順

学習計画の立て方

CDの収録内容

Part 1 語源と同意語の連想で覚える必修単語1706

本書に登場する語幹一覧（接頭語・接尾語リスト付き）

LESSON 1	23
LESSON 2	35
LESSON 3	49
LESSON 4	61
LESSON 5	75
LESSON 6	87
REVIEW TEST 1	99
REVIEW TEST 1 解答	103
REVIEW TEST 1 自己採点と指示	107
LESSON 7	109
LESSON 8	121
LESSON 9	133
LESSON 10	145
LESSON 11	159
LESSON 12	173
REVIEW TEST 2	186
REVIEW TEST 2 解答	190
REVIEW TEST 2 自己採点と指示	194
Part 1に登場した主な接頭語と単語チェック	195
Part 1に登場した主な接尾語と単語チェック	198

Part 2 共通項グループと同意語の連想で覚える必修単語948

共通項グループ一覧	204
-----------	-----

LESSON 13	207
LESSON 14	221
LESSON 15	237
LESSON 16	253
LESSON 17	275
LESSON 18	295
REVIEW TEST 3	308
REVIEW TEST 3 解答	312
REVIEW TEST 3 自己採点と指示	316

Part 3 SAMPLE TEST

SAMPLE TEST 1	319
SAMPLE TEST 1 解答	324
SAMPLE TEST 1 自己採点とTOEFL換算表	328
SAMPLE TEST 2	329
SAMPLE TEST 2 解答	334
SAMPLE TEST 2 自己採点とTOEFL換算表	338
SAMPLE TEST 3	339
SAMPLE TEST 3 解答	344
SAMPLE TEST 3 自己採点とTOEFL換算表	348

Appendix: SPEAKING・WRITING強化コーナー

①意見を述べるのに便利な単語や表現	350
②結論や結果を述べるのに便利な単語や表現	352
③原因や理由を表すのに便利な単語や表現	354
④内容や情報を紹介するのに便利な単語や表現	356
⑤言い換えをするのに便利な単語や表現	358
⑥順序を示すのに便利な単語や表現	359
⑦情報を加えるのに便利な単語や表現	360
⑧例を表すのに便利な単語や表現	362
⑨比較を表すのに便利な単語や表現	364
⑩対照を表すのに便利な単語や表現	366
⑪確信の程度を表すのに便利な単語や表現	368
INDEX	371

本書の特長と利用法

本書で扱う単語レベル

(1) どのレベルの単語を覚えればよいか

TOEFL試験に出題される英語問題は、受験者が将来アメリカで生活し、大学および大学院で勉強するに足る基本的な英語力をどの程度修得しているかを試すことが基準になっていると考えられます。従って、学ぶべき単語領域は米国滞在に必要な生活単語から、標準的な英文に用いられる抽象語まで幅広い領域にわたっています。しかし、出題される単語レベルは一般に考えられているほど高度ではなく、7千語から8千語レベル程度です。まれに難語と思われる単語も出題されることがありますが、その場合には文章の中で必ず意味が推測できるようになっている場合がほとんどです。

(2) 3ランクで目標に合わせて取り組める

本書はTOEFLで61点突破を目標とする人、80点突破を目標とする人、100点突破を目標とする人の学習上の便宜を図るために基本単語（6000語レベル以下）、中級単語（6000～7000語レベル）、上級単語（7000～8000語レベル以上）の3ランクに単語を分け、それぞれに無印、星印1つ★、星印2つ★★が付けてあります。

本書で取り上げた単語のレベルと語数

レベル	目標	記号	語数
基本単語 6000語レベル以下	61点突破		1999
中級単語 6000～7000語レベル	80点突破	★	449
上級単語 7000～8000語レベル	100点突破	★★	206
●総単語数			2654

本書は、Part 1 語源と同意語の連想で覚える1706、Part 2 共通項グループと同意語の連想で覚える948、Part 3 SAMPLE TESTの3部からなっています。Part 1は12レッスン、Part 2は6レッスン、全体で18レッスン構成です。6レッスンごとに習熟度をチェックするREVIEW TESTが付いています。また、レッスンの最後には本試験と難易度を合わせたSAMPLE TESTを行うことによって実際に受験したときに近いスコアの目安を知ることができます。

Part 1 語源と同意語の連想で覚える必修単語1706

8千語レベルに学習者が無理なく到達できるように2つの学習方法を用いました。

第1の方法はLESSON 1からLESSON 12までの語源を中心とした学習方法です。よく知られているように語源分析を中心とした単語の暗記法は語彙力を飛躍的に増大させるための有力な武器です。

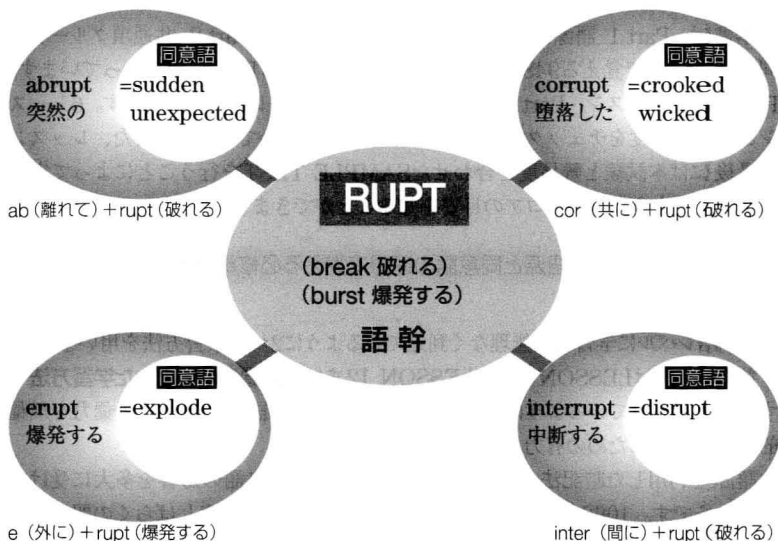
語源を利用した暗記法が有効なのは、英語がフランス語の影響を多大に受けてきたからです。1066年のノルマン人によるイギリス征服以来しばらくの間、フランス語が政治・経済・宗教・法律用語（抽象語が多い）としてイギリス社会で多用され定着しました。それが現代の英語にも生きています。フランス語はラテン語系の言語ですから、語源の多くはこのラテン語系に起源を発しています。

鰻（うなぎ）、鯖（さば）、鰯（いわし）、鯰（なまず）、鯖（まぐろ）などはだれもが知っている魚の名前ですが、日常生活では「カタカタ」や「ひらがな」で書かれている場合が多いので読めないことが多いはず。それでもこれらの漢字が「サカナ」の名前を指していることは分かります。それは共通した「偏」があり、「魚偏」から魚の名前だろうと想像することができるからです。

漢字を見るだけでおおよその意味を類推できるように、英語を見てその単語の意味を類推することが可能です。それが語源を使った暗記法です。次ページの表を見てください。

中心に**RUPT**がありますが、この**RUPT**は**break**（破れる）、**burst**（爆発する）の意味を持っています。そこで、**abrupt**（ab離れて+rupt破れる）は「離れたところで“突然”破れる」のイメージから「突然の」、**corrupt**（cor共に+rupt破れる）は「すべてが同時に破れる」のイメージから「墮落した」、**erupt**（e外に+rupt爆発する）から文字通り「爆発する」、**interrupt**（inter間+rupt破れる）は「間に入って破る」から「中断する」と意味を覚えることができます。

RUPTで10語を一挙に覚えらる



語源をきっかけとして意味を覚えると同時に、それぞれの単語の同意語 **abrupt = sudden = unexpected**、**corrupt = crooked = wicked**、**erupt = explode**、**interrupt = disrupt** を同時に覚えてしまえば、**RUPT** という語源から10の単語を一挙に覚えることができます。

語源を使って単語を暗記する上でさらに有利なのは、語源分析のできる単語は抽象的で難度の高い単語が多いことです。TOEFLで必要な単語を「語源」と「同意語」を利用して視覚的に覚える。またこれらの単語をCDを使って聴覚を通して覚える。これがPart 1 語源と同意語の連想で覚える必修単語1706です。

ここではこの単語集がTOEFLに出題される単語を学ぶ目的であることを踏まえ、その出題範囲内で必須と思われるもののみを選択して効率良く学べるようにすると共に、各語源の持つ意味を簡略化して暗記しやすいように工夫しました。また、単語の微妙な意味の違いやイメージをさらに豊かにする「ワードイメージ」と語源の理解を深める「発展学習」を随所に設けていますので、単語暗記の手掛かりとして活用してください。語幹、主な接頭語・接尾語の一覧をPart 1の冒頭に掲載してありますので参照してください。

Part 2 共通項グループと同意語の連想で覚える必修単語948

第2の方法はLESSON 13からLESSON 18で用いた**共通項グループ**による**学習方法**です。TOEFLで高得点を得るには、大学で学ぶ上で必要な**学術単語**と同時に、**アメリカ社会**で生活するのに必要とされる**生活単語**の理解が必要です。生活単語は仮に起源がラテン語系であっても、展開が少なく、語源から拡大して覚える方法が有効に使えません。そこでPart 2では、語源以外の有効な方法として、**共通項グループ**で生活単語を暗記する方法を取り入れています。

人間社会を構成する要素を大きく3つに分けて考えてみましょう。1番目は「人」、2番目は「物」、3番目は「人」と「物」の間に介在する「日常生活、社会生活、自然」です。「人」には感情、性格、状態、動作、表現などの属性があり、「物」には状態、位置、形、量、程度などの属性があります。「日常生活、社会生活、自然」は「人」や「物」とのかかわりの中で、それぞれの属性を持っています。図を見てください。

共通項グループで効率良く連想暗記

共通項グループ1



共通項グループ2



共通項グループ3



Part 2ではこれらの属性をそれぞれの共通項グループと考えると単語力を増強します。例えば、「量」の属性では**countless** (無数の)、**gigantic** (巨大な)、**many** (たくさんの)、**meager** (少量の)、**rare** (珍しい)、**slight** (わずかな)

などがあります。これらの単語に加えて、同意語の **innumerable** (= countless)、**mammoth, vast, huge, immense, tremendous, enormous, colossal** (以上 = gigantic)、**numerous** (= many)、**skimpy, sparse** (以上 = meager)、**infrequent, uncommon** (以上 = rare)、**petty, small** (以上 = slight) などを覚えていけば有効に単語を学ぶことができます。Part 1と同様、Part 2でもCDを利用して視覚からだけではなく聴覚からの刺激をすることも暗記をする上で重要です。

単語問題にも有効な同意語と例文

本書の例文は、見出し語を同意語に置き換えても正しい文となるように工夫されています。例えば、語源項目 (1) の例文では、**discomfort**と**hardship**が同意語で、

- ・ I don't think I can stand the **discomfort** of staying overnight in a **sleeping bag**.
- ・ I don't think I can stand the **hardship** of staying overnight in a **sleeping bag**.

(私は寝袋で一夜を過ごすような辛さには耐えられない)

の2つとも完全な英文で意味はほぼ同じです。もちろん2つの異なった単語ですからまったく同じ意味を持つことはありませんが、LISTENINGやREADINGで出題される範囲で同意語と扱われると考えられる単語は漏れなく学べるように留意したつもりです。また、同じ単語が何度か出てくることがありますが、それは同意語の組み合わせが語源分析する際にそれぞれ違った語幹に属しているときや、同じ単語でもその意味に微妙な違いがあったり、最重要単語で必ず覚えてもらいたい単語の場合などです。

完璧な弱点補強が可能なREVIEW TEST

REVIEW TESTは6レッスンごとに習熟度をチェックできるように構成されています。全問30問のうち、無印の単語が9題、星印1つの単語が12題、星印2つの単語が9題ずつ出題され、また各2レッスンを組にしてそれぞれから10題ずつ出題されています。REVIEW TESTが終わった段階で、弱点になっている部分を確認して、正答数の割合で復習の指示が出ていたり、先に進むように指示が出ていたりします。弱点克服のために上手に活用してください。

Part 3 SAMPLE TEST

SAMPLE TESTはTOEFLの本試験と難易度を合わせて作成されています。TOEFLのスコアはLISTENING、STRUCTURE、READING、WRITINGの4要素で構成されていますが、単語力を測定するだけでもTOEFL全体のスコアの得点力がほぼ正確に判定できると分かっています。従って、SAMPLE TESTでのスコアは実際に受験したときのスコアに近いものといえます。単語学習の総仕上げとして本試験のつもりで取り組み、スコアの目安を確認してみてください。

本書の単語の取り上げ方と学習の手順

LESSON 1

1 [FORT] [FORCE] (strong: 強い) **1** CD-1

2 [discomfort] = [hardship] **6**
[diskamfərt] [da:hsəp+comp+ti+kt+kt] (固) 辛苦

3 "I don't think I can stand the discomfort of staying overnight in a sleeping bag." **7**

4 [effort] = [attempt] **5**
[əfərt] [ə'tempt] (固) 奮闘

• The invention of the microscope cannot be attributed to the efforts of just a particular person.

5 [effortless] = [facile / easy]
[əfərtlis] [fə'si: / i:zi] (固) 容易な

• It looks effortless for an accountant to keep books.

6 [force] = [energy / strength]
[fɔ:rs] [enədʒi / strɛŋθ] (固) 力

• A champion discus thrower must have force, agility, and coordination.

7 [forced] = [compulsory]
[fɔ:rsd] [kəm'pʊlsəri] (固) 強制された

• During the Middle Ages, many buildings were constructed by forced labor.

8

0001. 私は寝袋で一夜を過ごすような辛さには耐えられないと思う。
0002. 顕微鏡の発明は単に特定の一人の努力によるものではない。
0003. 会計士にとって帳簿を付けねばならないのは容易なことである。
0004. 円盤投げのチャンピオンには、力、俊敏さ、あるいは協調性がなければならぬ。
0005. 中世においては、多くの建物は強制労働で建てられた。

●ワードイメージと発展学習

Part 1では単語のイメージを豊かにする「ワードイメージ」と語源の理解を深める「発展学習」を随所に設けています。単語暗記の手掛かりとして活用してください。

Part 2は同類項グループで分類されていますが、基本的にPart 1と構成が同じですので、同じ要領で学習を進めてください。

- ① 【語源グループ】とその【意味】を確認する
- ② 【見出し語】を確認する
見出し語には通し番号が付いていますので、進捗が確認できます。この番号は訳文の番号と対応しています。また、見出し語と同意語は3つのレベルに分類しました。
・無印 = 6000語レベル以下 (173点目標)
・★ = 6,000語～7,000語レベル (213点目標)
・★★ = 7,000語～8,000語レベル (250点目標)
- ③ 【発音】を確認する
- ④ 見出し語の【品詞】と【意味】を確認
品詞は、(名) 名詞 (動) 動詞 (形) 形容詞 (副) 副詞。
- ⑤ 【語源】の組み合わせと意味を確認する
- ⑥ 【同意語】を確認する
同意語にはアクセントを付けましたので音読に活用してください。
- ⑦ 【例文】に目を通し文の中での見出し語の用法を確認する
- ⑧ 【訳】に目を通し意味を確認しながら文構造を理解する
訳の番号は見出し語に対応しています。
- ⑨ 同じ要領で語源グループの単語、例えば(1)ではFORT, FORCEを語幹とする単語をすべてマスターする
- ⑩ 次にCDで語源グループの単語、例えば(1)ではFORT, FORCEを語幹とする単語を聞いて聞き取れるようにする

学習計画の立て方

(1) 自分の目標に合わせた学習計画を立てる

全体を18レッスンに分けたのは、学習計画を立てたり、進度を確認したり、本書をクラスで利用する際に分量的に便利だと考えたからです。TOEFLに出題される単語を一通り覚えるのにあたって各LESSONを1週間で終わらせれば4、5か月で、3日間で終わらせれば2か月で全部を終了することができます。試験日が近づいているなどの理由で急いでいる人は巻末の索引を利用して分からない単語をチェックしていけばさらに短期間で実力を養成することも可能です。

要は自分の目標点を明確にし確実に暗記していくことです。また、3回分のSAMPLE TESTは本番のTOEFL試験と同程度の難度にしてあるので、力試しをしてください。

本書を10週で終了する学習計画例

週	課題範囲
1st week	Lesson1～Lesson2
2nd week	Lesson3～Lesson4
3rd week	Lesson5～Lesson6 REVIEW TEST1と復習
4th week	Lesson7～Lesson8
5th week	Lesson9～Lesson10
6th week	Lesson11～Lesson12 REVIEW TEST2と復習
7th week	Lesson13～Lesson14
8th week	Lesson15～Lesson16
9th week	Lesson17～Lesson18 REVIEW TEST3と復習
10th week	SAMPLE TEST1～3と総仕上げ

(2) レベル別学習で無理のないスコアアップを図る

本書では単語レベルを3つのランクに分けて紹介していますので、自分のレベルの合わせた効率的なスコアアップが可能です。TOEFLの受験経験がなくスコアが分からない人はまずSAMPLE TESTを1つ受け、自己採点して目安となるスコアを確認してから、どのレベルから学習を始めるかを決めて実力を伸ばす方法をお勧めします。

- ① **61点突破を目指す人**：まず無印の単語をしっかりと学習し、
61点を突破した時点で星印1つの単語に挑戦してください。
- ② **80点突破を目指す人**：無印の単語は復習の意味でさっと確認し、
星印1つの単語を中心に学習します。80点を突破した時点で星印2つの単語に進みます。
- ③ **100点突破を目指す人**：無印・星印1つの単語は復習の意味で
さっと確認し、星印2つの単語を中心に学習します。
その後SAMPLE TESTを受けてみて100点を突破できれば目標の単語学習完了です。

以上のことを着実に実行することによって必ずTOEFLで100点レベルの単語力が付くと確信しています。皆さんのご健闘を祈ります。

繰り返し聞いて意味と用法を完全マスター

CDには、見出し語と同意語、例文が収録されています。単語を覚える際に例文が暗唱できるくらい繰り返し聞くと意味だけでなく用法も自然に覚えられます。ぜひ文の中で単語を覚えることを実行してください。トラック番号はPart 1 (Lesson 1～12) では「語源グループ」ごとに、またPart 2 (Lesson 13～18) ではそれぞれの「同類項グループ」ごとに付いていますので、確認しながら学習を進めてください。

CD1

トラック

LESSON 1 項目番号1～12	1～12
LESSON 2 項目番号13～25	13～25
LESSON 3 項目番号26～37	26～37
LESSON 4 項目番号38～49	38～49
LESSON 5 項目番号50～61	50～61
LESSON 6 項目番号62～73	62～73
LESSON 7 項目番号74～85	74～85

CD2

LESSON 8 項目番号86～97	1～12
LESSON 9 項目番号98～109	13～24
LESSON 10 項目番号110～121	25～36
LESSON 11 項目番号122～133	37～48
LESSON 12 項目番号134～145	49～60
LESSON 13 項目番号146～153	61～68

CD3

LESSON 14 項目番号154～161	1～8
LESSON 15 項目番号162～171	9～18
LESSON 16 項目番号172～184	19～31
LESSON 17 項目番号185～195	32～42
LESSON 18 項目番号196～203	43～50

本書に登場する語幹一覧

(接頭語・接尾語リスト付き)

LESSON 1~6

REVIEW TEST 1

REVIEW TEST 1 解答と指示

LESSON 7~12

REVIEW TEST 2

REVIEW TEST 2 解答と指示

Part 1に登場した主な接頭語と単語チェック

Part 1に登場した主な接尾語と単語チェック

第二巻本

[Part1]

語源と同意語の連想で 覚える必修単語1706

基本単語 1316 words

中級単語 ★ 261 words

上級単語 ★★ 129 words

基本単語は61点、中級単語は80点、
上級単語は100点突破の必修単語